4月16日（土）　2022年度春季リーグ戦第3節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
神戸大	2	0	0	4	1	0	3	0	0	5	15
大公大	4	2	0	0	0	0	0	2	2	0	10

大阪公立大学　　対　　神戸大学

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点
1	右	谷口	4	畝傍	4	1	1
2	遊	藏道	4	桐蔭	4	1	2
3	指	薗	4	清教学園	2	1	1
4	三	鈴木	4	清教学園	5	0	1
5	左	眞銅	3	佐久長聖	6	1	1
6	一	大西	3	豊田西	6	2	2
7	二	米麦	3	高松商業	2	2	2
8	捕	高木	4	高槻	4	0	0
	走	中彌	4	向陽	-	-	-
	捕	髙内	3	彦根東	-	-	-
9	中	大山	4	市立西宮	3	0	0
	中	北野	3	水口東	2	1	0
投		正中	3	小野	-	-	-
		岩本	4	桃山学院	-	-	-
		青野	3	高松	-	-	-
		松浦	3	関西大倉	-	-	-

合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	6	12	1	0	5	38	9	10

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点
1	中	岡崎	4	寝屋川	6	3	7
2	二三	太田	2	市立西宮	5	1	1
3	捕	佐伯	4	加古川東	5	2	2
4	一	野田	4	修道	5	1	1
5	三	齋藤	4	明星	5	2	0
	二	甘中	3	奈良	1	0	0
6	指	水谷	4	加古川東	3	3	2
	走指	鶴田	3	米子東	2	0	0
7	左右	駒寿	3	鹿児島玉龍	5	0	0
8	遊	西本	4	豊中	4	0	0
9	右	荻根澤	2	早稲田摂陵	2	0	0
	打	田代	4	大手前	1	0	0
	左	水島	4	北須磨	0	0	0
投		吉賀	2	鳥羽	-	-	-
		林	3	加古川東	-	-	-
		藤原	4	寝屋川	-	-	-
		丹波	4	畝傍	-	-	-

合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	9	6	1	0	3	44	12	13

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
正中	5	91	27	25	8	3	2	7	3
岩本	2	39	11	8	1	1	3	3	2
青野	1	17	3	3	1	1	0	0	0
松浦	2	31	10	9	3	4	1	5	5
合計	10	178	51	45	13	9	6	15	10

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
吉賀	2	63	14	11	5	1	3	6	5
林	1 1/3	34	6	5	1	1	1	0	0
藤原	6	135	28	19	3	2	8	4	4
丹波	2/3	13	3	3	0	2	0	0	0
合計	10	245	51	38	9	6	12	10	9

【戦評】

何としてでも勝ち点を奪いに行こうという強い思いで挑んだ一戦。

初回から試合が動きます。先発の正中は二安打を許します。また、味方の失策が絡み２点を先制されます。しかし、その裏、３つの四球、大西の二塁打、米麦の三塁打により一挙に４点を奪い、勝ち越しに成功します。

２回表、正中は三者凡退に抑える好投を見せます。また、その裏、大公大打線の勢いは止まらず、谷口の右中間への三塁打、薗の二塁打に相手の失策が絡み、２点を追加します。

しかし、４回表、３本の安打、味方の失策や四球が絡み、一挙に４点を失い、追いつかれます。また、５回表、二安打と捕逸により１点を失い、勝ち越しを許します。

６回表、岩本がマウンドに上がります。２つの四球により走者を出しますが、後をしっかり打ち取り無失点に抑えます。その裏、追いつきたい大公大打線は、四球により走者を出しますが、後が続かず、無得点に抑えられます。

７回表、岩本は二死一三塁の場面で、３点本塁打を浴びます。

８回表、ここで青野がマウンドに上がります。安打を許すも、高木が盗塁を刺し、無失点に抑え、味方の援護を待ちます。

その裏、先頭打者の藏道が三塁打を放ち、薗の盗塁や四球が重なり、２点を追加します。

９回表、松浦がマウンドに上がります。これ以上点差を広げたくない大事な局面でしたが、三者連続三振に抑える圧巻のピッチングを見せます。

味方の好守に応えたい打線はその裏、米麦、高木が四球選び、また北野のバントが内野安打となり無死満塁のチャンスを招きます。すると、谷口が内野安打、薗が犠飛を放ち、２点を追加します。同点に追いつき、延長戦に持ち込みます。

延長戦は連盟規定により無死一二塁のタイブレーク制で行われました。１０回表、この回もマウンドを託された松浦は、先頭打者に四球を許し、またその後も３本の連打を浴び、一挙に５点を失います。

その裏、逆転を目指した大公大打線でしたが、交代投手に手が出ず、無得点で攻撃を終え、１０－１５で敗戦いたしました。